

会津ファンクラブ公式会報誌

会津ファン

AIZU FAN

vol. 1

2013.9

みんな知ってた?
会津の「人・物・歴史」

会津内半径300mの旅
会津まち歩記

会津DE体験
樽のマルマルやってみた。
游印づくり篇

会津原寸大図鑑
スパンサー7連発騎兵銃

特集
集頭

鶴ヶ城



Nodate mug
ノダテマグ
カラー:透き漆(茶)・黒・紅緋



Acustico iphone5スピーカー
カラー:メープル(カエデ)・チェリー(桜)・ウォルナット(胡桃)

AIZU
イイモノ

part 1

会津ファン

AIZU FAN vol. 1

発行/会津ファンクラブ事務局
(一般財団法人会津若松市観光公社内)
〒965-0873 会津若松市追手町1-1
TEL.0242-27-4005 FAX.0242-27-4012
e-mail/aizufan@tsurugajo.com
2013年9月

特集 巻頭

鶴ヶ城



会津若松のシンボル、鶴ヶ城。
平成23年には全国唯一の赤瓦の天守閣に生まれ変わり、
幕末当時の姿を見ることができます。
そんな鶴ヶ城の歴史と、
あまり知られていない魅力をお届けしましょう。

会津の奥深い魅力や、人情にも触れる旅を。



表紙の人たち



佐藤剛さん 安西久子さん 鈴木義春さん

今回、表紙にご登場いただいたのは「サムライシテイ会津隊」の佐藤剛さん(写真左)、鈴木義春さん(写真右)と会津地方の郷土玩具・赤べこを手にした「鶴ヶ城ボランティアガイド」の安西久子さん(写真中央)。
1年を通じ、訪れる観光客の皆さんに会津や鶴ヶ城の魅力をご案内しています。3人とも、「お城や幕末の歴史だけに興味を持つだけではなく、会津の長い歴史の奥深さや人情にも触れてほしい」と口を揃える。
大河ドラマ「八重の桜」の影響で今年には会津を訪れる人も多いと言います。ぜひ、この機会に会津の様々な観光スポットやグルメ、土地に暮らす人々と触れ合う旅を試みてはいかがでしょうか？
鶴ヶ城ボランティアガイドは、鶴ヶ城の他、飯盛山(4月～11月)、御葉園(4月～11月の土日)にも待機しています。

鶴ヶ城を専門のボランティアガイドのご案内!

毎日交代で3名～4名が鶴ヶ城に待機しています。お気軽に鶴ヶ城観光案内所までお申込ください。ご予約は、下記のお電話または予約ページからお申し込みできます。事前のご予約をおすすめいたします。尚ご予約状況によりご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。



お問い合わせ先/一般財団法人会津若松市観光公社

◎受付時間/午前9時～午後3時30分◎お電話で予約/TEL.0242-27-4005

◎ネットで予約/http://www.tsurugajo.com/kankou/v_yoyaku.html

「会津ファンクラブ」ってなに?



2001年に発足した、「会津ファミリークラブ」は今年12年目を迎えました。この間、会津・福島を取り巻く状況は大きく変化し、「会津ファミリークラブ」も時代に即した情報の伝達が望まれています。そこで、2013年9月「会津ファミリークラブ」は名称も新しく「会津ファンクラブ」と生まれ変わります。定期的な会報誌発行とともに会員カードも一新。「会津人」を通じた紙面作り、そして要望の多かった「まち歩き」、人をキーワードに構成していきます。また、ソーシャルワーキングサービス(フェイスブック)を利用した情報提供など、幅広い年齢層に会津を知ってもらおう取り組みをすすめていきます。この会報誌は、読者の皆さまからのリクエスト、ご要望により読者目線で編集されています。皆様のご意見、ご要望をお待ちしております。



Contents

2013 September Aizu Fan

巻頭特集	鶴ヶ城	2
会津若松のシンボル・鶴ヶ城の新しい楽しみ方		
みんな知ってた?	会津の「ひと・もの・歴史」	7
会津 DE 体験!! 噂の(マル)マルやってみた	游印づくり体験/字游庵	9
会津原寸大図鑑	スパンサー銃	10

会津まち歩記	神明通り周辺	11
会津イベント情報		13
リレーで繋ぐ「会津の人」/フロム会津ファン		14
AIZU イイモノ		
ノダテマグ	4,600円～	
Acustico iphone5 スピーカー	5,250円	
ライフスタイルショップ b Prese (ビープレゼ)		
会津若松市西栄町6-30	TEL 0242-27-3200	
営業時間 10:00～19:00	水曜日定休	
aizu.shop@b-prize.co.jp	http://www.b-prize.co.jp/bprese/	





鶴ヶ城天守閣

●入場料金
【茶室「麟閣」共通】
大人(高校生以上)500円
小人(小・中学生)150円
【天守閣のみ】
大人400円 小人150円
●開城時間
8時30分～17時まで
(入城締め切りは16時30分)
●休館日 無休

市民の願いが叶い、昭和40年に天守閣が再建。平成13年には天守閣に続く建物「干飯櫓・南走長屋」が江戸時代の工法・技術を用いて復元されました。天守閣の内部は郷土博物館となっており会津の歴史に触れることができます。

また、平成23年には赤瓦へのふき替えが完了し、大河ドラマ「八重の桜」でもたびたび登場する幕末当時の姿を再現し、現存する天守閣では国内唯一の赤瓦の天守閣となっています。

市民の願いが叶い、昭和40年に再建



1384年 葦名氏により館が造られる

鶴ヶ城は至徳元年(1384年)、その前身である東黒川館(黒川城)を葦名直盛が築いたのが発祥と言われます。その後、葦名氏は天正17年(1589年)に伊達政宗との摺上原合戦で敗戦。葦名氏は会津を追

鶴ヶ城

足跡に迫る

History of Tsurugajo-castle

われ伊達政宗が会津へ入ることとなり。しかし、政宗も豊臣秀吉によって行われた小田原攻めに遅参したことで黒川城を追われ米沢へ戻され、黒川城には蒲生氏郷が伊勢松坂から入城しました。氏郷は黒川城を「鶴ヶ城」と改め、七層の天守閣を築くなど城下町会津の基礎を造りました。

その後領主は、上杉景勝、ふたたび蒲生秀行と代わり、次に寛永4年(1627年)に入城した加藤嘉明氏の嫡男・明成の代に大規模な城郭の改修を行い現在に近い形になりました。しかし、加藤氏はお家騒動により領地を没収されてしまいます。

寛永20年(1643年)に保科正之が入城、三代正容のとき松平姓を

新政府軍との壮絶な戦いで鶴ヶ城の歴史に幕を引く

許され、九代容保は幕府から京都守護職に任ぜられ公武合体を推進。意に反して鳥羽伏見の戦いでは朝敵とされ、戊辰戦争に突入。約1ヶ月の間鶴ヶ城に籠城することとなりました。しかし、明治元年9月22日に降伏。明治7年、鶴ヶ城は廃城となり新政府の命により取り壊しになったのです。



鶴ヶ城近くのShopでちょっと休憩

本丸茶屋
北出丸からすぐ、三岐濠ほとりの好立地にある食事処。会津名物のソースカツ丼(900円)が好評。店頭で実演販売している焼き団子(1本300円)や名物の天ぷらまんじゅう(1個80円)もぜひ、お城散策の途中で味わいたい。



稲生 幸子さん
お漬物を眺めながらゆっくりお食事ができます。春は桜、夏は緑、秋は紅葉、冬は雪景色と1年を通じ、美しい景色と自慢のお料理をお楽しみください。

レストランシーヌ
新鮮で旬の素材にこだわったフレンチレストラン。明るく広々とした空間で、本格フレンチを堪能できる。観光の途中には、気軽に味わえる「選べるランチコース」(1300円)がおススメ。お好みで、お魚やお肉を選べるのも嬉しい。

会津の良さとフランス料理を融合させ、日々美味しさにチャレンジしています。野菜などは北会津の有機農家と契約するなど、野菜はもちろん肉や魚にも新鮮で旬な素材にこだわっています。「選べるランチ」はフレンチで手軽に味わえるので、観光の間にもおススメです。

料理長 齋藤 直也さん

会津若松市追手町4-47 ☎0242-27-6938
【ランチタイム】11:00～15:00 【ディナータイム】14:30～17:00
【ディナータイム】18:00～22:00 デイナーのみ日曜定休

会津若松市追手町4-18 ☎0242-26-2139
☎9:00～17:00 無休



アドリア北出丸カフェ
樹齢1000年と言われる大ケヤキの一枚板が、憩いの空間を見守るお洒落なカフェ。お城の石垣や天守閣を望むロケーションとヒノキや桜の銘木をふんだんに使った落ちつきある空間で、自慢のコーヒ(680円)を味わいたい。写真のシフォンケーキ(650円)もおススメ(コーヒとセットなら1000円引き)。



会津若松市追手町4-28 ☎0242-27-3600
☎月～土10:00～21:00 日・祝10:00～18:00



会津葵本店
会津藩御用の茶間屋二字屋治郎左衛門の系譜をもつ上菓子店。原料を厳選し、一品一品でいねいに仕上げられた創作和菓子が評判。なかでも秘伝の製法で作られ、屋号にもなっている「会津葵」(5ヶ箱入り1100円)はお土産に最適。

会津若松市追手町4-18
フリーダイヤル 0120-26-7010 ☎9:00～18:00

私どもでは「真・善・美」をモットーに、オリジナルにこだわった創作和菓子づくりを行っています。一つひとついねいに仕上げたお菓子には、それぞれ物語がございます。量産はできませんが、深い愛情と責任をもってお客さまにお届けいたします。

代表取締役
五十嵐 康祐さん

会津若松市追手町4-6 ☎0242-27-1001 ☎9:00～17:00
普通入場者・大人250円・中高生150円(展示室以外入館料無料)



シルクロード文明館

シルクロードの美の遺産を収集したレンガ蔵の小美術館と「会津葵」などの創作和菓子を手軽に味わえる茶房「西遊館」を併設した施設。会津葵自慢の和菓子を塩紅茶(550円)やお抹茶などと味わえる。

⑧二の丸

現在は、テニスコートがある場所が二の丸。廊下橋で本丸と、また三の丸(現在の県立福島博物館周辺)とつなぐ重要拠点でもあった。ここから廊下橋を背景に見る天守閣も絵になる。おススメの撮影ポイント。



⑨廊下橋

二の丸へ通じる朱塗りの橋。加藤明成の大改修まではここが大手口だった。本丸に向かって、この橋の左手にある高石垣は「忍者返し」と呼ばれ、鶴ヶ城で最も美しい石垣とされている。扇形の勾配で、約20mの高さがある。



⑩武者走り

緊急時など大手門の渡り櫓などへ簡単に昇り降りできるように造られている。V字型に造られており「武者走り」とも呼ばれ鶴ヶ城の石垣の特色の一つ。



⑪鐘撞堂

戊辰戦争のとき、籠城戦になっても正確な時を告げ続け、城外にいた味方兵はその音で城内の健在を知り、意気を上げたと言われている。今もボランティアガイドの手により若松城下には正午、鐘の音が響く。



⑫天守閣

天守閣内は博物館として貴重な資料を展示公開している。最上階からの眺めは最高!

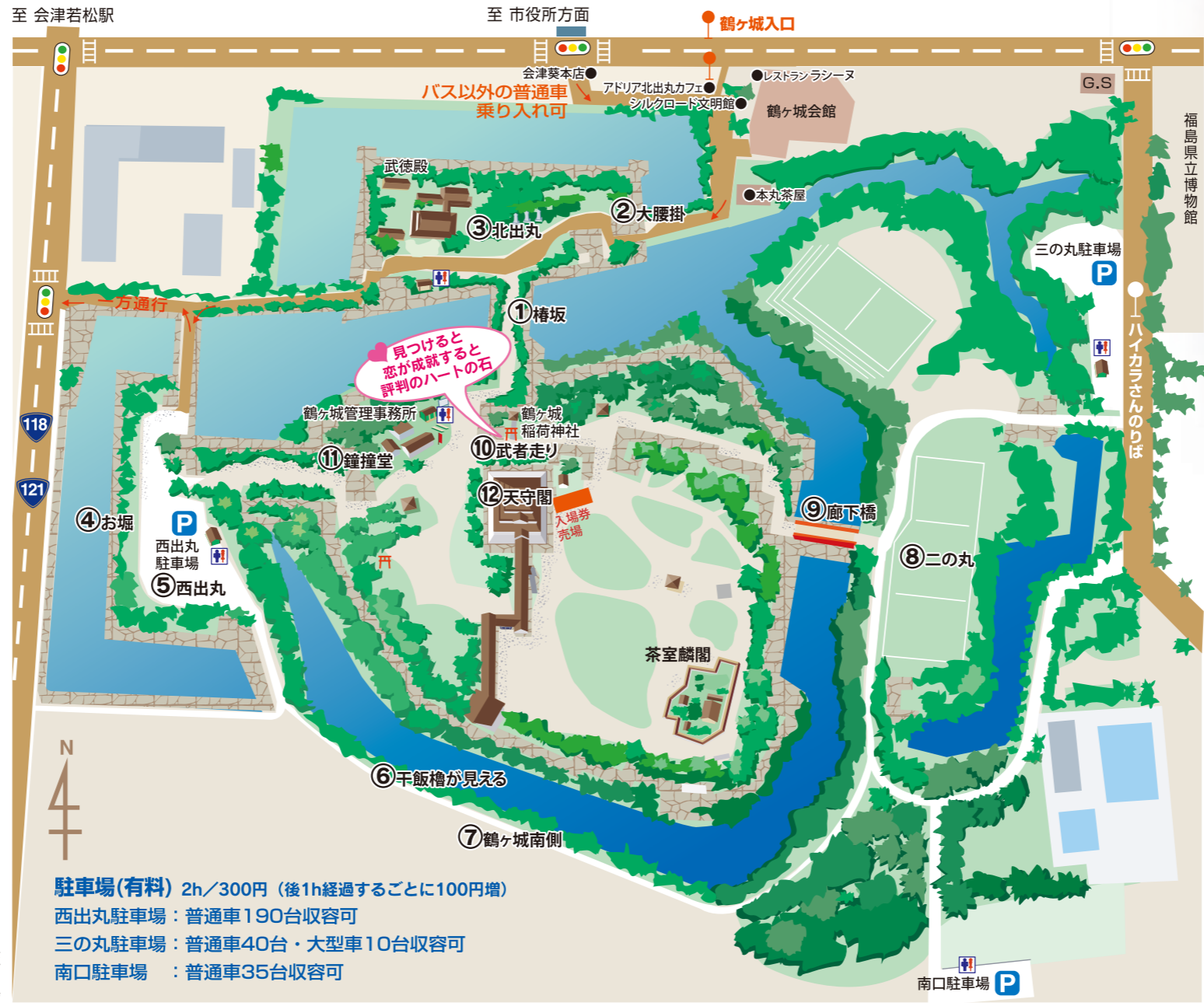


⑦お城の南側は自然の宝庫

お堀をはさんで干飯櫓の手前は斜面になっており、堀を泳ぐ魚や季節によってはトンボやチョウが舞う自然が豊かな散歩道。

お城のビューポイント

JR会津若松駅から神明通りをまっすぐ進み、裁判所の通りを左折。北出丸カフェの小径を右に曲がるとここに出る。春は桜、秋は紅葉、冬は雪景色の中に浮かぶ天守閣が見られる。



駐車場(有料) 2h/300円(後1h経過することに100円増)
 西出丸駐車場: 普通車190台収容可
 三の丸駐車場: 普通車40台・大型車10台収容可
 南口駐車場: 普通車35台収容可

お堀と石垣を愛でる周遊コース

- スタート
- 本丸・観光案内所
 - 樁坂
 - 北出丸
 - 西出丸
 - 国道121号・118号沿い
 - 鶴ヶ城南側
 - 二の丸
 - 廊下橋
 - 本丸(武者走り・鐘撞堂・天守閣)

●距離: 約2Km
 ●所要時間: ゆっくり歩いて約1時間30分

①樁坂

北出丸から本丸へと通じる城への玄関口。道の両側の桜の木にはアオダイショウやシマヘビが生息しているのでご注意ください。



②大腰掛

敵を迎え撃つための階段状の砦。戊辰戦争では新政府軍が北出丸大手門付近まで押し寄せたが、これより先へはとうとう攻め入ることができなかった。

③北出丸

本丸に入る3つの入り口の一つで、城の大手口を守る重要な場所。堅固な桁形の石垣で守られ、敵を三方から攻撃できる利点があった。戊辰戦争のとき、八重が鶴ヶ城に籠城し、新政府軍と戦ったときに、ここ北出丸からスペンサー銃で応戦したと言われている。

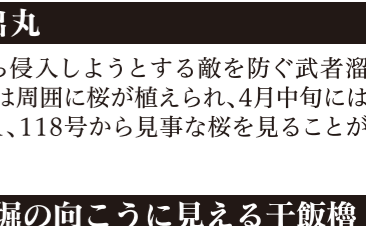
④お堀

水深1m~3m50cm。幅は最大で30間(約55m)あり、当時の鉄砲では堀の外側からギリギリ届かない距離を想定して作られた。主な水源は猪苗代湖から引かれていた。



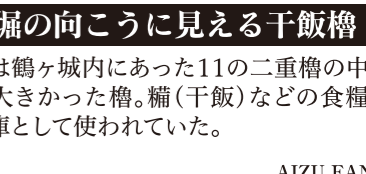
⑤西出丸

西側から侵入しようとする敵を防ぐ武者溜り。現在は周囲に桜が植えられ、4月中旬には国道121、118号から見事な桜を見ることができる。



⑥お堀の向こうに見える干飯櫓

干飯櫓は鶴ヶ城内にあった11の二重櫓の中で一番大きかった櫓。糰(干飯)などの食糧の貯蔵庫として使われていた。



生命力に満ちた大ケヤキ

そしてもう一つのパワースポットが鶴ヶ城稲荷神社拝殿の右側・帯郭にある樹齢300有余年と言われるケヤキ。モミ、カッラの木が生い茂る場所だ。中でもひととき目をひく大ケヤキ。数十年前に落雷し、幹の根本辺りが空洞になったにも関わらず、いまだ青々と葉や枝を上へ伸ばしている。この生命力に満ちた大ケヤキの幹に触れるとパワーを授かるという評判だ。鶴ヶ城を訪れた際は、ぜひ一度そのパワーを確かめに訪れてほしい。

知る人ぞ知る 鶴ヶ城のパワースポット 城内にある鶴ヶ城稲荷神社

鶴ヶ城にパワースポットがあることをご存じだろうか。一つ目は天守閣の北側帯郭にある「鶴ヶ城稲荷神社」。約600年前、菅原直盛が城の守り神として祀った。この神社の参道の石段には両脇に3対合計で6体の狛狐が鎮座。狛狐の口には、「宝玉」「子狐」「米俵」「鍵」などをくわえている。五穀豊穡や子孫繁盛の象徴として宝玉や子狐、米俵などは他の神社でも見られるが、鍵をくわえているのは珍しい。案内してくれたガイドさんによれば、鍵は、威を表し金持ちの象徴だそう。また、会津若松市内にある同じ北向き「愛宕神社の稲荷」と「宝積寺の稲荷」の3ヶ所にお参りすると合格の願いが叶うと、受験シーズンには大勢の参拝客で賑わう。

お堀の水はなぜ濁っているのか?

お堀の水は、お城の生活排水を堀に流しわざと濁らせていた。1つ目の理由は、藻などのヒシ類を植え、忍者などの外敵の侵入を防ぐため。2つ目は、藻が増えると魚が増え、水鳥が増え、水鳥が増え、外敵が侵入すると水鳥が騒ぐ、すなわち自然の警報にするためだという。そして3つ目の理由は、水を抜いても藻などの水草やヘドロがあり、外敵は抜かると歩きにくいなどの理由があった。お堀は最後の砦としてお堀の水にも細心の気配りがあったことが、こんなところからわかってくる。

みんな知ってた?

会津の人・物・歴史

会津の天神様

てんじんさま

子どもの幸せを祈り、真心こめて。



大きさにより約8,000円～20,000円。表情の美しさは日本一と評されています。



会津から天神様づくりをやる人がいなくなるなんて聞いて、赤べこづくりの技術を活かせると思い受け継ぎました。すべて手作りなので数には限りはありますが、精魂込めて作っています。日本一と言われる上品で端麗なお顔と和紙が醸し出す味わいある会津天神様をぜひ一度ご覧ください。

須藤 繁雄さん
(有)民芸処・番匠代表取締役

会津の伝統工芸品と言えば「赤べこ」が有名ですが、知られざる逸品として隠れたファンが多いのが東北最古の張子玩具「会津天神様」。約400年前、会津の殿様だった蒲生氏郷が京の都から人形師を招き、藩中の無役の武士に製法を習わせ、生計の一部にあてさせたのが始まりだと言われています。

その作り方も伝統にのっとり、会津本郷焼の素焼きの頭に色を塗り、筆で顔を描き、体は昔から伝わる木



型に和紙を張る張子で出来ています。特に張子の部分は凹凸があり熟練した技術が必要です。和紙を約20分間揉み、柔らかくした紙を一枚一枚といねいに貼っていくという古来の製法を守り、今も受け継いでいます。人形のモデルは学問の神様・菅原道真で、天神様にあやかり、子供の健やかな



民芸処 番匠
会津若松市和田1-6-3
☎0242-27-4358
営業時間/9:00～17:00
(体験される方は16:00まで入館) 無休
http://www8.plala.or.jp/akabeco/index.htm

成長を願う伝統玩具として古くから親しまれてきました。会津では「子どもの頭が良くなるように」と、男の子のいる家庭では3月のお節句に飾るならわしが今でもあるそうです。

強清水の天ぷら

こわしみず

旅人の心にしみる、峠の名物。



天ぷら3種(まんじゅう1個・身欠きにしん2個・スルメ2個)の盛り合わせは400円。



強清水と云えば「天ぷら」と言われるほど昔から多くの皆さんにご愛食されてきました。天ぷらにするまんじゅうも手作りです。昔ながらの素朴な味わいを大切にしています。ぜひ一度、ご賞味ください。



山口 和子さん
元祖・清水屋店主

旧白河街道と旧二本松街道の分岐点にあり、数百年前から今もこんにんとう水がわく、強清水(こわしみず)。この地で、街道と会津若松市街地を結ぶ峠の茶屋として、明治初期の頃より名物の天ぷらを提供しているのが「元祖清水屋」です。

天ぷらの種類は3種(1ヶ80円)。身欠きニシンとスルメ、そして評判のまんじゅうの天ぷら。そのまま食べても美味しいが、醤油をちよっとだけ付けて食すのが会津スタイル。もともと冠婚葬祭で料理のほかにもんじゅうを供されることが多かった、会津地方。その残ったまんじゅうを天ぷらにしたのが由来だと言われています。

身欠きニシンやスルメなど保存食を上手に活用した郷土料理でもあります。



会津三大茶屋「強清水」の元祖・清水屋。河東ICの近く。



強清水 元祖清水屋

会津若松市河東町八田沢目406-1 ☎0242-94-2008
営業時間/10:00～17:00(冬季12月～2月 10:00～16:30) 不定休
http://www.aiaiaizu.com/shimizuya/shimizuya.html

会津木綿

もめん

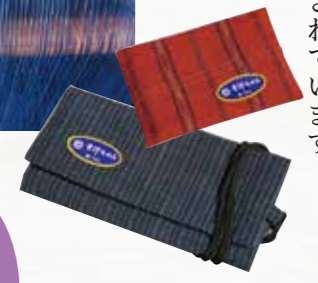
約400年の伝統を誇る、美しい縞模様。

会津木綿の由来は綿花栽培が始められた天正年間(1573年～1592年)までさかのぼり、蒲生氏郷が行った産業振興策によるとされています。その後、加藤嘉明や保科正之により奨励され、広く会津に広まりました。白虎隊士や野口英世も少年時代はこの会津木綿を着用しており、日常着やもんぺ、野良着、夜具などに用いられた人々の暮らしを支えてきました。

素朴で堅牢な縞模様が基本で、保温性、吸水性、通気性に優れているので季節を問わず着用できるのが特徴です。紺地に地域に合った縞柄を織り出すものが一般的でしたが、現在は赤や緑などカラフルな色の縞柄が織られ、洋服はもちろんバッグや財布、スリッパの柄など多くのものに用いられています。



大正時代の豊田自動織機(トヨタ自動車の源流)が今も現役で活躍している。



原山織物工場 会津若松市日吉町4-25 ☎0242-27-0342
営業時間/平日 8:00～12:00, 13:00～17:00
土曜・日曜・祝祭日休み
http://harayamamomen.com/
もう1つの織元 山田木綿織元 会津若松市七日町11-5 ☎0242-22-1632



明治32年創業、老舗の織元。会津木綿の織元は同社を含め会津若松市内に2軒しか今は残っていない。

昔ながらの製法にこだわり、心を込めて染め、天日で乾燥させ、織り上げています。また伝統を守りながらも、現代風の新しい感覚を織り込んだ製品も取り揃えております。鶴ヶ城の売店や市内の土産店でお買い求めになれますので、ご自身の目でその品質をお確かめください。

原山 公助さん
会津もめん織元・株式会社原山織物工場 代表取締役

噂の〇〇マル〇〇マル やつてみた。

游印づくり体験

at 字游庵

〔駅前町〕



世界でたったひとつ、自分だけのデザイン游印。



刻字入りの箸置き。



STEP 1 希望する字のデザインを考えて、紙に書く。

STEP 2 下絵で書いた文字を石の上に裏返しに書き写す。



STEP 3 書いた文字を印刀で彫っていく。



STEP 4 朱肉を付けて試し、バランスを整え完成！(所要時間:約45分)

今回、会津DE〇〇を体験してもらうのは、東京から来た仲良し2人組。小門咲さんと深見玲奈さん。ナント、小門さんは会津に来る事自体が初めて！さて二人に体験してもらおうのは...ズバリ「游印づくり」...と言っても皆さんピンと来ませんか？

ハイ、ここは会津若松駅から徒歩数分の所にある「字游庵」。游印や表札などの刻字を使った作品の展示販売や体験などができるお店なんです。店内に一步入ると、墨の香りと一緒に代表の小原さんが制作した作品がところ狭しと置かれています。

二人は、早速小原さんの指導のもと「游印づくり」にとりかかります。

実は二人の名前を事前に聞いていた小原さんが「咲」と「玲」の二文字をすでに古代文字にしていってくれたんです。これには二人とも感激で「えーっわたしの字ってこうなるんだあ〜」「何かさあ、この文字かわいいわねえ」と関心しきりです。お手本通りに、下書きを石に写す作業をようやく完成させ、今度はその通りに彫っていく。



きます。「力の入れ加減によって、多少バランスが崩れても、それがいい味になるのよ」と小原さんに褒められながら、何とか完成しました。今回この体験で二人に感想を聞いてみると小門「もう、これをわたしのロゴマークにします！」深見「すごい、東京に帰ったらみんなに自慢しちゃいます」と大満足だったようですね。みなさんも自分だけの、世界にひとつだけの「游印づくり体験」してみませんか？



游印づくり体験教室は大人2,500円、小人1,500円

文字の魅力を、世界にひとつしかない自分だけの「しるし」を楽しんでください。

小原欣苑(喜代子)さん



字游庵
会津若松駅前町4-11
☎0242-25-0080
営業時間/10:00~18:00 不定休
e-mail: contact@jiyu-an.net
http://www.jiyu-an.net

激しい籠城戦で、八重が構えたスペンサー銃。



スペンサー銃用の弾薬箱。7発入りのカートリッジが10本入っていた。八重はこの弾薬箱を持ち、鶴ヶ城に入城しました。



鉛製の弾丸と黒色火薬を銅製の薬きょうに詰めたる当時の最新式弾丸。

大河ドラマ「八重の桜」で、綾瀬はるかさんが演じる八重が鶴ヶ城の籠城戦で銃を手に戦っているシーンを見た人も多いのではないのでしょうか？あときの銃が、当時最新式のスペンサー七連発銃です。八重は新政府軍の西洋式大砲から発射される無数の砲弾が飛び交う中、男装し、北出丸に突撃してきた敵と交戦。「幕末のジャンヌ・ダルク」と呼ばれました。籠城戦は1ヶ月にもおよび、弾切れした八重は、弾丸の製造可能な旧式の管打ち式ゲベル銃に持ち替え、最後まで勇敢に戦いました。



スペンサー7連発騎兵銃

1860年、アメリカのクリストファー・スペンサーによって発明された世界最初の後装式連発銃。戊辰戦争では「元込七連発銃」と恐れられました。八重が手にしていた銃は、兄の山本覚馬が長崎で購入し、会津の妹に送ったと言われています。当時から高価だったこの銃は、現在国内に十数挺しか現存しない大変貴重な古式銃砲です。

Full Scale Data	全長/940mm 重量/約4kg 口径/約12mm
-----------------	---------------------------

*「会津原寸大図鑑」は会津に関係のあるものをより身近に感じていただけるように、実物大(原寸大)で掲載・紹介するコーナーです。

会津原寸大 図鑑 #001



会津新選組記念館
会津若松市七日町6-7
☎0242-22-3049
営業時間/10時頃~17時頃 不定休
http://www.aizushinsengumi.com/



会津 まち歩き記

半径300mの

神明神社周辺

三百メートルの半径を少しディープに歩くこの企画。今回は、神明神社を起点に半径三百メートルを歩きます。朝から夜まで、歴史とおしゃれなショップやカフェが共存する魅力的なエリアです。(ごめんなさい、全ては紹介しきれません)

3 b Prese (ビープレセ)

北欧家具や雑貨、モダンな会津塗りまで、暮らしを彩るデザイン雑貨を揃えたライフスタイルショップ。伝統技術と新しい感性とが融合した会津漆ブランド「BITOWA」など話題の品も揃っている。

会津若松市西栄町6-30 ☎0242-27-3200
営業時間/10:00~19:00
水曜日定休

2 小澤ろうそく店

江戸中期創業の老舗。明治時代の店構えも伝統を感じさせる。500年の歴史がある会津ろうそくは、職人が一本一本丹精込めて手づくりしている逸品。ろうそく絵付け体験もできる。

会津若松市西栄町6-27 ☎0242-27-0652
営業時間/9:00~19:00
1月1日、2日定休

1 神明神社

寛安2年(1369年)神道流槍刀術の祖・飯篠山城守家直が勧請した神社。輩名氏が深く信仰し、松平家までの歴代会津領主から深く崇敬され、庇護を受けた。戊辰戦争で焼失後、仮殿を設けた折に伊勢宮から神明神社に改称し、昭和19年に現在地に移転した。節分祭や例大祭(8月4日)も行われ、住民にも親しまれている。緑豊かな境内は町のオアシスといった趣きで、歴史に思いを馳せながら心安らげるスポット。

会津若松市中町1-46 ☎0242-26-3292
宮司の大塚正浩さん▶

4 興徳寺

弘安10年(1287年)、輩名泰盛公が創建した格式ある寺。現在の会津若松の基礎を築いた領主、蒲生氏郷公の墓があり、墓前には辞世の句「限りあれば吹かねど花は散るものを心短き春の山風」の歌碑が立っている。

会津若松市栄町2-12 ☎0242-22-2993

会津の恩人のパワーをもらう

ご利益がありますように☆

6 田中稲荷神社

会津の最大の初市「十日市」を司る。明治32年、会津と京都に一つつしかない貴重な土蔵造りで建てられた。7月には家内安全や豊作を願う例大祭「ほおすき市」が行われる。

会津若松市大町1丁目1-5 ☎0242-27-9453

7 会津干支小法師

個性豊かな起き上がり小法師

起き上がり小法師と干支・十二支が合体した個性ゆたかな縁起物「会津干支小法師」を販売。ストラップや置物などかわいくて楽しいグッズも満載。

会津若松市大町1丁目1-56 ☎0242-28-6651(本店)
営業時間/10:30~16:00
不定休

8 紀州屋1934 Bus Cafe

カフェ三番山下

1934年建築の歴史ある建物。食品や石鹸・アロマなど福島県内の選りすぐりのものを揃えるほか、会津観光のインフォメーションや公衆無線LANスポット設置など、観光に嬉しいサービスが充実している。

会津若松市大町1丁目1-57
紀州屋1934 Bus Cafe(バスカフェ)
☎0242-85-6984
営業時間/10:00~17:00
月曜日定休

9 野口英世青春館・會津壹番館

野口英世が手の手術を受けた會陽医院跡で、英世に関する貴重な資料を見ることが出来ます(2階・入場料100円)。

【會津壹番館】
ケーキセット(選べるケーキ・抹茶のアイスクリーム・コーヒ).....840円
※写真は酒粕プリン

会津若松市中町4-18 ☎0242-27-3750
営業時間/8:00~20:00 1月1日定休



5 とらや

激辛カレーがいっぱい焼きたておいしいよ♪

12 トミーフード

おやつにもいいね! カレー焼きそば

1975年(昭和50年)から続く、会津のB級グルメ「カレー焼きそば」発祥の店。昔懐かしい味が老若男女に人気。目玉焼きなどのトッピングも楽しい。

会津若松市中町1-23
野口英世青春広場内 ☎090-6689-1032
営業時間/11:00~15:00
(14:30ラストオーダー)
火曜日定休

10 モンジューあいつ店

厳選された新鮮な牛乳を使ったアイスクリーム(ジェラート)を約18種類から選べる。モチモチ生地のクレープもおすすめ。

会津若松市中町3-53
会津ロイヤルプラザ1F ☎0242-28-5433
営業時間/[3~11月]12:00~18:00
[12月~4月]10:30~18:30
水曜日定休(お問い合わせください)

11 福西本店・大町ガス燈・會や

大正初期に建てられた蔵の中に、土産物がずらりと並んでいる。赤べこや天神様、こぼし、唐人風など、会津ならではの民芸品も数多い。大正ロマンを感じさせる建物群。レストランやアンティークショップもある。

会津若松市中町4-16
福西本店 ☎0242-27-0071
営業時間/9:00~18:00
無休

大町ガス燈 ☎0242-29-5725
営業時間/11:30~23:00
第1・第3・第5日曜日定休

會や ☎090-2794-8186
営業時間/11:00~19:00
不定休

13 会津葡萄酒倶楽部

個性豊かな16種類のグラスワインに加え、クォーターボトル(約200ml)12種類、計28種類のワインを気軽に味わうことができる。ボトルワインは、1階に併設するメルモンドの数百種類の中から選べ、ワイン通もワイン初心者も楽しめる。

会津若松市西栄町6-40
会津葡萄酒倶楽部 ☎0242-27-0947
営業時間/19:00~23:00
(金・土・日曜日は18:00~23:00)
第1・第3・第5日曜日定休

ワイン&フーズメルモンド ☎0242-27-1557
営業時間/月~土曜日10:00~22:00
日曜日・祭日10:00~20:00
第1・第3・第5日曜日定休

野口英世ゆかりの地を体感しよう

英世が必死に勉強に励んだ机など、愛用品も展示されている。

【會津壹番館】

1Fはボンネットバスのカウンターカフェとセレクトショップ。2Fカフェは古民家風の落ち着いた雰囲気の中、コーヒーや軽食が楽しめる。

【大町ガス燈】

日替わりランチ(一例)

馬刺定食 950円
桜肉のハンバーグ 900円

13 会津葡萄酒倶楽部

ワイン&フーズメルモンド

1Fのメルモンドにはウェディング・カウンター(待ち合い席)もあり、気軽に立ち寄れる。

12 トミーフード

カレー焼きそば

13 会津葡萄酒倶楽部

ワイン&フーズメルモンド

私は会津に生まれてずっと「薩長憎し」の風潮に違和感を覚えていました。恨み辛みからは何も生まれな

いのではないかと「恨み辛みを子どもたちに引き継ぐのはやめよう」と。その具現化のひとつが「オペラ白虎」の上演でした。生と死をテーマに、何があるうといつも前を向いて生きていく、というメッセージをオペラに託しました。

会津の奥深い歴史を見て、平和の大切さを感じとってほしい。



昨年、會津風雅堂で公演し、すぐれたオペラ作品に贈られる佐川吉男音楽賞を今年受賞した「オペラ白虎」の地域振興芸術委員会委員長を務めた宮澤洋一さんをご紹介します。

リレーでつなぐ 会津人



戦い、悲劇を生んだ会津だからこその地から発信しなくてはいけないメッセージだと思えます。そしてそれは全世界に通じるものです。会津観光も同様です。今までは戊辰戦争の一面にばかりスポットがあたっていました。これから私たちが発信していかなくてはならないのは、更に一歩踏み出した、このよ

うな視点ではないでしょうか？

旅行者の方々には会津の奥深い歴史を見て、平和の大切さを感じとってもらえれば嬉し

いですね。



宮澤洋一さん
NPO会津鶴ヶ城を守る会理事長、会津若松市民総ガイド運動実行委員会委員長など会津の観光振興のために精力的に活動する毎日。株主総会代表取締役社長。

イベント情報 Event Information

〈鶴ヶ城天守閣企画展〉幕末資料一挙公開
■9月13日(金)～12月2日(月)
 大河ドラマ八重の桜もいよいよ終盤です。鶴ヶ城天守閣では、幕末の会津に関する逸品を集中展示する企画展を開催いたします。〔泣血筆〕や「禁門の変図屏風」など幕末関連資料を一挙紹介します。
場所 鶴ヶ城天守閣1層
料金 大人 500円(茶室隣閣との共通券) 小中学生 150円

会津まつり ■9月21日(土)～23日(月)
 9/21(土) 提灯行列・会津磐梯山踊り(19:00～神明通り)
 9/22(日) 日新館童子行列・会津磐梯山踊り
 9/23(月) 先人感謝祭(8:20～鶴ヶ城本丸) 会津藩公行列(9:30～出陣式)
 23日は先人感謝祭の後、会津藩公行列が開催されます。大河ドラマ八重の桜の舞台会津、今年は何となく有名人がくるのでしょうか……。
場所 鶴ヶ城天守閣
TEL 0242-36-5043

鶴ヶ城 元旦登閣 ■2013年12月31日(火)～2014年1月1日(水)
PM11:30 AM2:00(入場締切)
場所 鶴ヶ城天守閣 **料金** 大人400円 小中学生は無料 (元旦日は通常営業)
同時開催 鶴ヶ城初夢抽選会(入場された方全員に縁起物「飯べら」プレゼント。)

御薬園初釜 ■2014年1月3日(金) 10:00～15:00
 御薬園内お茶屋御殿では上記の通り初釜を開催いたします。流派服装に関わらずお気軽にお越し下さい。
場所 御薬園お茶屋御殿 **料金** お一人様700円入場料含む
TEL 0242-27-2472

1日(日)	第8回只見駅前通りウキウキわいわいフェスタ 場所:只見駅前通り TEL 0241-82-2141
7日(土)	奥会津ロックフェスティバル'13 場所:季の郷 湯ら里 TEL 0241-48-5525
14日(土)～15日(日)	月例茶会「月釜」 場所:鶴ヶ城公園内「茶室隣閣」 時間:10:00～15:00 料金:隣閣入場料込 1000円 園(一財)会津若松市観光公社 TEL 0242-27-4005
15日(日)	南郷豊年祭り 場所:県立南会津高等学校グラウンド TEL 0241-72-2041
22日(日)	歌舞伎の夕べ 場所:檜枝岐の舞台 TEL 0241-75-2432
24日(火)	古町まつり(伊南) 場所:古町中央通り TEL 0241-76-2517
28日(土)～29日(日)	フルーツ&フラワーフェスティバル 場所:会津若松市やすらぎ広場「ホタルの森公園」 時間:9:00～13:00 TEL 0242-58-1805
29日(日)	会津新選組まつり&七日町楽市 場所:阿弥陀寺・七日町市民広場・七日町けやき通り 時間:10:00～17:00 TEL 0242-33-9919
29日(日)	薪能 場所:会津能楽堂 時間:17:30～ 園会津能楽会 TEL 0242-22-3514(折笠宅)
29日(日)	白虎隊慰霊祭 時間:10:30～12:00 場所:飯盛山 白虎隊士墓前 TEL 0242-39-1251
29日(日)	裏磐梯山岳耐久レース2013 受付:ラピスバ裏磐梯 園もくもく自然塾 TEL 0241-32-3010
29日(日)	第39回野尻川マス釣り大会 場所:中向集落 下平運動広場 受付:7:00～ TEL 0241-57-3100

6日(日)	鶴ヶ城大茶会 時間:10:00～15:00 料金:一服300円 TEL 0242-27-4005
12日(土)	赤べこまつり 場所:圓蔵寺周辺 時間:10:00～15:00 TEL 0241-42-2114
12日(土)～13日(日)	奥会津・只見・うまいもんまつり 場所:JR只見駅前 TEL 0241-82-2380
13日(日)	2013自然首都・只見 トリムウォーク&トリムラン 受付:JR只見駅前 TEL 0241-82-2380
19日(土)	会津高原館岩新そばまつり(館岩) 場所:そば処 曲屋 TEL 0241-78-2546
20日(日)	第3回ゴーマン杯 南会津町ふるさと健康マラソン大会(館岩) 受付:館岩総合支所 TEL 0241-62-2442
20日(日)	伊南川古町温泉あゆまつり(伊南) 場所:古町農村公園 赤岩荘周辺 TEL 0241-76-7714
20日(日)	大博多山秋の山開き(伊南) ※先着300名様に記念バッチプレゼント 場所:奥会津博物館伊南館前(受付)7:00スタート TEL 0241-76-2517
26日(土)	イチョウまつり 場所:噴丸集落 旧噴丸小学校 時間:10:00～ TEL 0241-57-3100
26日(土)～27日(日)	伊南川100kmウルトラ遠足(伊南) 場所:伊南小学校古町大いちょう(5:00スタート) TEL 0241-76-2517
26日(土)～27日(日)	奥会津ごっつおまつり 場所:金山町民体育館 TEL 0241-54-5327

湯ったりのんびり 会津の温泉



東山温泉 御宿 東鳳
 出来立ての美味しさが自慢のバイキング&会津を一望! 大展望露天風呂が大人気だロポ!

東山温泉の入り口に建つ御宿東鳳は、市内観光のアクセスも便利。鶴ヶ城や飯盛山までお車で10分ほどの位置にあります。会津の食を満喫できるオープンキッチンの美食バイキングはリピーターも多く、郷土料理は勿論、B級グルメから旬のグルメまで大満足。ご朝食では喜多方ラーメンの「朝ラー」が大人気です☆ また、露天風呂から望む城下町一望のパノラマビューは当館ならではの絶景。会津若松駅からのシャトルバスを毎日運行しております。

会津若松市東山町大字石山院内706
 ☎0242-26-4141(代)
 (ご予約受付時間 8:30～22:00)
 info@onyado-toho.co.jp
 http://www.onyado-toho.co.jp/



芦ノ牧 芦ノ牧 グランドホテル
 絶品!料理に地元の人も殺到。是非、一度は味わいたいロポ。

会津若松市内から南へ進み、芦ノ牧大橋を渡ると右側にあります。芦ノ牧グランドホテルのイチオシは何といっても、その料理。地元会津の方々も何回も利用するほどの人気です。また、芦ノ牧温泉といえば豊富な湯量と良質な泉質で有名ですが、このホテルの全面畳敷きの大浴場にはびっくり☆ 子供から大人にまでやさしいこの大浴場は温泉を十分満喫できます。朝食も楽しみな芦ノ牧グランドホテルで紅葉の会津を楽しまれてはいかがでしょうか。

会津若松市大戸町大字芦ノ牧 1044
 ☎0242-92-2221
 (ご予約受付時間 8:00～21:00)
 http://www.ashinomaki.jp/

会津ファンクラブ 会員募集

会津ファンクラブは会津が好きならどなたでも加入できる、会津をこよなく愛するファンクラブです。(居住地を問いません) 会津ファンクラブに加入すれば、旬な情報満載の会報誌が四季を通し送付されるほか、会員特典も満載。この機会のご入会をお待ちしております。



- 入会資格** 会津をこよなく愛する方ならどなたでも加入できます。(居住地を問いません)
- 内容と特典** 会員の皆様には様々な特典と情報をお届けします。
 - 会津の魅力(観光・史跡・まち歩き・会津の体験など)情報満載の会報誌を送付いたします。
 - 協賛店舗や施設で割引等の優待サービスを受けられます。(順次サービス拡大中)
 - 会報誌を通した、会津の物産品などプレゼントする企画に参加できます。
 - その他、会津ファン公式フェイスブックにて旬な会津の情報をお届けしていきます。
- 更新手続き** 3年間有効(3年終了時に更新の有無を確認いたします)
- 申し込み方法** メール、FAX等にて①お名前、②住所、③連絡先(メールまたは電話番号)、④入会動機をご記入のうえ、下記まで送付ください。

入会金 年会費 無料

会津ファンクラブにご意見・ご要望をお寄せください。
 会津ファン会報誌で取り上げてほしい場所や物、人物などのご意見やご要望をお待ちしています。お電話、はがき、メール、またはFAXにて、お気軽に事務局までお問い合わせください。(会員申込みも承っております。)

会津ファンクラブ事務局
 (一般財団法人会津若松市観光公社内)
 〒965-0873 会津若松市追手町1-1
 TEL 0242-27-4005 FAX 0242-27-4012
 e-mail aizufan@tsurugajo.com

会員様プレゼント
 会津ファンクラブ事務局からファンクラブリニューアルを記念してオリジナル「仕の掬Tシャツ」を3名の方にプレゼントします。
 ※会員様だけの受付となりますので、この機会に是非、ご応募ください。

応募方法
 ハガキにて、①住所、②氏名、③連絡先(電話またはメールアドレス)、④希望サイズ(S・M・L・LL)、⑤会津や鶴ヶ城についての思い、⑥会員番号をご記入の上、ご応募ください。

【宛て先】
 〒965-0873 会津若松市追手町1-1
 一般財団法人会津若松市観光公社内
 「会津ファンクラブ」宛 (9/30消印有効)

